

あなたは北方領土を
知っていますか。

第40回

「北方領土の日」

宮城県大崎集会



記念講演

海から考える北方領土問題

東海大学静岡キャンパス長

山田吉彦氏

日時：令和2年2月7日(金)

13:30～15:30

場所：大崎市民会館

宮城県大崎市古川北町5-5-1 TEL 0229(22)2649

エリカ
ちゃん



主催 北方領土返還要求宮城県民会議・宮城県・大崎市

協賛 大崎市議会・商工経済団体・青年婦人団体・ほか各種団体

集会プログラム

1. 開 会 宣 言 古川地域婦人団体連絡協議会副会長 永 塚 正 子
2. 主 催 者 あ い さ つ 北方領土返還要求宮城県民会議会長 石 川 光 次 郎
宮 城 県 議 会 議 長
宮 城 県 知 事 村 井 嘉 浩
大 崎 市 長 伊 藤 康 志
3. 来 賓 祝 辞 大 崎 市 議 会 議 長 佐 藤 和 好 様
4. 来 賓 紹 介
5. メ ッ セ ー ジ 及 び 祝 電 披 露
6. 北 方 領 土 青 少 年 現 地 視 察 体 験 発 表 大 崎 市 立 古 川 中 学 校 ・ 大 崎 市 立 古 川 東 中 学 校 ・
宮 城 県 古 川 黎 明 中 学 校 ・ 古 川 学 園 中 学 校
7. 記 念 講 演 東 海 大 学 静 岡 キ ャ ン パ ス 長 山 田 吉 彦 氏
8. 決 議
9. 大 会 旗 引 き 継 ぎ 大 崎 市 長 か ら 次 期 開 催 地 美 里 町 長 へ
10. 閉 会

記念講演講師

やま だ よし ひこ 山 田 吉 彦 氏 略 歴

東海大学静岡キャンパス長（学長補佐）

1962年（昭和37年）千葉県出身

学習院大学経済学部卒業

埼玉大学大学院博士課程終了 博士（経済学）



金融機関勤務を経て、1991年から日本財団（日本船舶振興会）に勤務。
海洋船舶部長、海洋グループ長などを歴任。

2008年 日本財団退職、東海大学海洋学部准教授

2009年4月～ 同大学海洋学部教授

2019年4月～ 同大学静岡キャンパス長（学長補佐）

特に、日本の国境問題、海上保安体制などに詳しい。

2006年8月 北方四島交流訪問事業（国後島、択捉島）

2009年7月 北方四島交流訪問事業（国後島、択捉島）

2010年7月 北方四島交流訪問事業（国後島、択捉島）

2011年9月 北方四島交流訪問事業（色丹島）

2013年8月 北方四島交流訪問事業（国後島）

2016年7月 北方四島交流訪問事業（国後島、色丹島）

2019年8月 北方四島交流訪問事業（国後島、色丹島）

▼著書

「日本の国境」（新潮新書）

「海賊の掟」（新潮新書）

「海のテロリズム」（PHP新書）

「国境の人びと ～再考・島国日本の肖像～」（新潮社）

「日本の海が盗まれる」（文春新書） など多数

新聞・テレビ報道において、海上保安・警備など海事情について解説多数

令和元年度 北方領土青少年現地視察事業概要

【 概 要 】

事業趣旨 北方領土返還要求宮城県民会議が構成した青少年等現地視察団を北方領土隣接地域に派遣し、青少年に北方領土を視察してもらうとともに、元島民の体験談を聞くなどの機会を提供することにより、北方領土問題を身近な問題と捉えていただき、返還要求運動の確実な継承を図ることを目的として実施するもの

事業主体 北方領土返還要求宮城県民会議（事務局：宮城県総務部広報課）

実施時期 令和元年8月18日(日)～21日(水) 3泊4日

視察場所 北海道根室市・別海町・標津町・中標津町（北方領土隣接地域）

実施内容 北方領土の望見、元島民の講話聴講、根室市の高校生による出前講座、北方領土啓発施設の見学等

参加者 大崎市立古川中学校、大崎市立古川東中学校、宮城県古川黎明中学校、古川学園中学校の4校から中学生15名及び引率教員4名、大崎市職員1名、県民会議事務局3名

[合計23名]

【 行 程 】

令和元年8月18日(日)	移動（仙台空港 → 新千歳空港 → 中標津空港） 「北方館・納沙布岬・四島のかげ橋」施設見学
8月19日(月)	「北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）」施設見学 元島民（鈴木咲子さん）の講話聴講 北海道根室高等学校の高校生による出前講座 「野付半島ネイチャーセンター」施設見学
8月20日(火)	「標津サーモン科学館・北方領土館・ポー川史跡自然公園」 施設見学
8月21日(水)	移動（中標津空港 → 新千歳空港 → 仙台空港）



決 議 (案)

我が国固有の領土である択捉島^{えとろふとう}、国後島^{くなしりとう}、色丹島^{しこたんとう}及び歯舞^{はぼまい}群島^{ぐんとう}の北方四島が、戦後74年を経過した今日もなお、ロシアの不法・不当な占拠下に置かれていることは、我が国の主権を踏みにじる行為であり、誠に遺憾である。

北方領土問題は、日ロ両国最大の懸案であり、北方四島の帰属の問題を解決して、平和条約を締結し、真に安定した友好関係を確立することが、我が国の一貫した基本方針である。

国においては、この基本方針のもと、首脳会談をはじめとし、様々な形での外交交渉が行われている。我々は、元島民をはじめ、全国民の悲願である北方四島の日も早い返還実現を目指し、国の外交交渉を強力に後押しするため、県民一丸となり粘り強く返還要求運動を推進していくことを決議する。

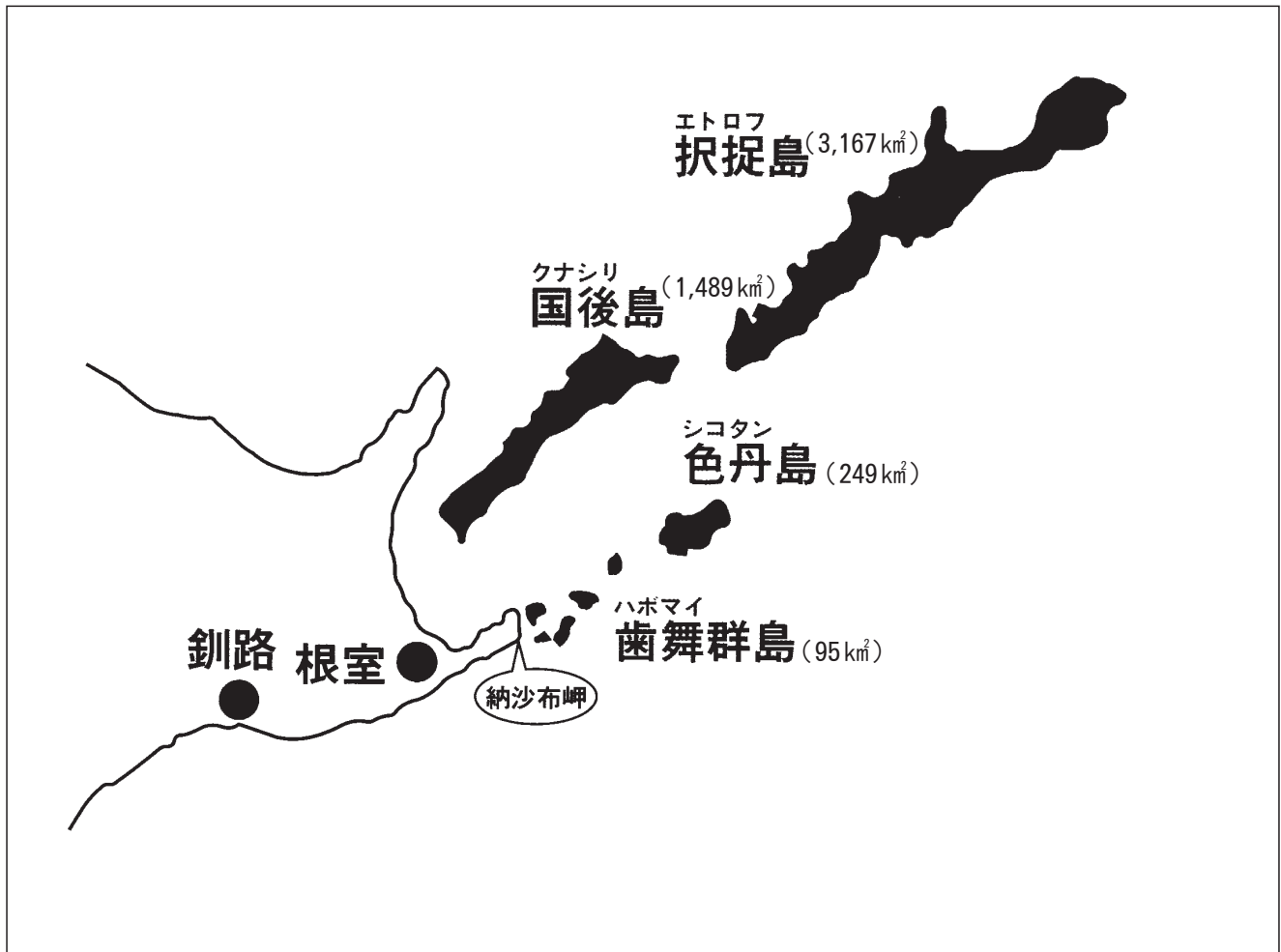
令和2年2月7日

第40回「北方領土の日」宮城県大崎集会

2月7日は「北方領土の日」です。

わが国が一日も早い返還をロシアに要求している「北方領土」とは、^{えとろふ}択捉島、^{くなしり}国後島、^{しこたん}色丹島、^{はほまい}歯舞群島（^{すいしょう}水晶島、^{あきゆり}秋勇留島、^{ゆり}勇留島、^{しほつ}志発島、^{たらく}多楽島等）の四島です。

これらの島々は、わが国民が父祖伝来の地として受け継いできたもので、いまだかつて一度も外国の領土になったことがなく、日本人以外のいかなる民族も定住した事実がない私達日本人の故郷^{ふるさと}なのです。



北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを図るため、政府は昭和56年1月6日の閣議了解により、毎年2月7日を「北方領土の日」と決めました。

2月7日は、1855年（安政元年）に伊豆の下田で日魯通好条約が調印され、平和的に日本とロシアの国境が^{えとろふ}択捉島と^{うるっぶ}得撫島との間に確定した日です。この事実はわが国が北方四島の返還を求める重要な根拠となっています。

北方領土返還要求運動都道府県民会議とは？

北方領土返還要求運動が国民運動として定着するために、各地で個別に運動を続けていた各種団体を統一し、さらに多くの国民が運動に参加できる基礎を確立することが求められていました。この声に応える形で、地域における北方領土返還要求運動の推進基盤として、北方領土の返還を要求する都道府県民会議が組織されていきました。

昭和45年には北海道以外で初めて宮城県に県民会議が組織され、その後、昭和62年の島根県における県民会議の結成をもって全都道府県に設置されました。

各都道府県民会議は、青年団体、婦人団体、労働・経済団体、行政機関等により構成され、都道府県民大会、キャラバン活動、街頭キャンペーン活動、パネル展、研修会・講演会等の事業を官民一体となり展開しています。

北方領土返還要求宮城県民会議とは？

宮城県では、全国に先駆け、市町村・漁業団体及び県議団有志をもって昭和45年10月25日「北方領土返還促進並びに漁業の安全操業に関する宮城県民会議」を設立し、北方領土視察、県内キャラバン隊、県民集会を開催するなど、北方領土の返還促進をスローガンに様々な運動を行ってまいりました。

政府は昭和56年1月6日の閣議において毎年2月7日を「北方領土の日」と決めました。本県では県民集会を同日に開催することとし、昭和56年に仙台市において第1回県民集会を開催して以来、毎年県内各地において開催し、今年で40回目の県民集会開催となりました。

平成14年7月、本県民会議は、北方領土返還運動を業種等にとらわれないすべての県民の運動として盛り上げていくため、名称を発展的に「北方領土返還要求宮城県民会議」と改称し、県民集会、県民フォーラムの開催や署名運動などの運動を積極的に実施しております。

北方領土返還署名コーナーでああなたの御参加を！

終戦当時、北方四島に居住していた方々は17,291人とされ、この元島民で組織する千島歯舞諸島居住者連盟が事務局となって昭和40年8月、札幌駅前「北方領土返還要求署名運動」が始まりました。

その後、県民会議や関係団体が署名を収集し、千島歯舞諸島居住者連盟が全国の署名を取りまとめ、衆・参両議院への請願の際に提出されています。これまで全国から寄せられた署名数は9千万人を超えましたが、北方領土返還が実現するまで継続することとしております。

平成30年度宮城県民会議署名収集数 63,582名（全国918,930名）

2月7日「北方領土の日」宮城県集会開催一覧

開催年月日	開催場所	参加者数	記念講演講師
第1回「北方領土の日」 昭和56年2月7日(土)	宮城県集會館 宮城県建設會館	200名	
第2回「北方領土の日」 昭和57年2月7日(日)	宮城県集會館 宮城県建設會館	200名	元駐ソ大使 中川融氏
第3回「北方領土の日」 昭和58年2月7日(月)	宮城県石巻集會館 石巻公民館	1,000名	北方領土問題対策協会理事 末次一郎氏
第4回「北方領土の日」 昭和59年2月7日(火)	宮城県気仙沼集會館 気仙沼市民會館	1,200名	前国際協力事業団総裁 法眼晋作氏
第5回「北方領土の日」 昭和60年2月7日(木)	宮城県塩竈集會館 塩釜商工会議所大ホール	1,000名	NHK解説委員 家城啓一郎氏
第6回「北方領土の日」 昭和61年2月7日(金)	宮城県名取集會館 名取市民會館	1,000名	元外務事務次官 法眼晋作氏
第7回「北方領土の日」 昭和62年2月7日(土)	宮城県仙台集會館 仙台市役所8Fホール	1,000名	法政大学教授 杉山茂雄氏
第8回「北方領土の日」 昭和63年2月7日(日)	宮城県古川集會館 古川市民會館	1,000名	NHK解説委員 高橋祥起氏
第9回「北方領土の日」 平成元年2月7日(火)	宮城県白石集會館 白石市民會館	1,200名	京都外国語大学教授 小谷豪治郎氏
第10回「北方領土の日」 平成2年2月7日(水)	宮城県迫集會館 迫町民体育館	1,800名	元外務事務次官 法眼晋作氏
第11回「北方領土の日」 平成3年2月7日(木)	宮城県石巻集會館 石巻市民會館	1,500名	外交評論家 澤英武氏
第12回「北方領土の日」 平成4年2月7日(金)	宮城県気仙沼集會館 気仙沼市民會館	1,000名	NHK解説委員 家城啓一郎氏
第13回「北方領土の日」 平成5年2月7日(日)	宮城県塩竈集會館 塩竈市体育館	2,500名	新樹会代表 末次一郎氏
第14回「北方領土の日」 平成6年2月7日(月)	宮城県築館集會館 栗原文化會館	1,200名	防衛大学校教授 瀧沢一郎氏
第15回「北方領土の日」 平成7年2月7日(火)	宮城県岩沼集會館 岩沼市民會館	1,300名	元駐ソ大使 鹿取泰衛氏
第16回「北方領土の日」 平成8年2月7日(水)	宮城県小牛田集會館 小牛田町文化會館	1,100名	NHK解説主幹 飯田健一氏
第17回「北方領土の日」 平成9年2月7日(金)	宮城県志津川・歌津集會館 志津川町中央公民館	1,200名	外交評論家 澤英武氏
第18回「北方領土の日」 平成10年2月7日(土)	宮城県矢本集會館 矢本町コミュニティセンター	700名	法政大学名誉教授 杉山茂雄氏
第19回「北方領土の日」 平成11年2月7日(日)	宮城県亘理集會館 亘理町中央公民館	650名	北方四島交流推進全国会議会長 関通彰氏

開催年月日	開催場所	参加者数	記念講演講師
第20回「北方領土の日」 平成12年2月7日(月)	宮城県多賀城集会所 多賀城市文化センター	1,200名	防衛大学校教授 佐瀬昌盛氏
第21回「北方領土の日」 平成13年2月7日(水)	宮城県角田集会所 角田市市民文化センター	550名	国際問題評論家 高橋実氏
第22回「北方領土の日」 平成14年2月7日(木)	宮城県仙台集会所 仙台市民会館	850名	前駐ロシア大使 都甲岳洋氏
第23回「北方領土の日」 平成15年2月7日(金)	宮城県松島集会所 松島町中央公民館	550名	北海道新聞社 論説副主幹 山谷賢量氏
第24回「北方領土の日」 平成16年2月7日(土)	宮城県女川集会所 女川町生涯教育センター	600名	法政大学名誉教授 杉山茂雄氏
第25回「北方領土の日」 平成17年2月7日(月)	宮城県塩竈集会所 塩竈市民交流センター	400名	産経新聞社正論調査室長兼論説委員 斎藤勉氏
第26回「北方領土の日」 平成18年2月7日(火)	宮城県石巻集会所 石巻市河北総合センター	413名	東京経済大学教授 兵藤長雄氏
第27回「北方領土の日」 平成19年2月7日(水)	宮城県大崎集会所 大崎市民会館	602名	元駐ソ連・ロシア大使 枝村純郎氏
第28回「北方領土の日」 平成20年2月7日(木)	宮城県栗原集会所 栗原文化会館	754名	杏林大学教授 斎藤元秀氏
第29回「北方領土の日」 平成21年2月7日(土)	宮城県南三陸集会所 南三陸町スポーツ交流村	650名	産経新聞社常務取締役東京編集局長 斎藤勉氏
第30回「北方領土の日」 平成22年2月7日(日)	宮城県気仙沼集会所 気仙沼市民会館	600名	元NHK解説主幹 飯田健一氏
第31回「北方領土の日」 平成23年2月7日(月)	宮城県東松島集会所 東松島市コミュニティセンター	550名	時事通信社仙台支社長 名越健郎氏
第32回「北方領土の日」 平成24年2月7日(火)	宮城県蔵王集会所 蔵王町ふるさと文化会館	450名	独立行政法人北方領土問題対策協会理事 茂田宏氏
第33回「北方領土の日」 平成25年2月7日(木)	宮城県大和集会所 大和町ふれあい文化センター	700名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第34回「北方領土の日」 平成26年2月7日(金)	宮城県加美集会所 加美町中新田文化会館(中新田パッパホール)	500名	国土舘大学大学院客員教授 渡邊光一氏
第35回「北方領土の日」 平成27年2月7日(土)	宮城県大河原集会所 仙南芸術文化センター(えぞこホール)	450名	NHK解説委員室解説委員 山内聡彦氏
第36回「北方領土の日」 平成28年2月7日(日)	宮城県富谷集会所 富谷町武道館	700名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第37回「北方領土の日」 平成29年2月7日(火)	宮城県利府集会所 利府町総合体育館	700名	元杏林大学教授 斎藤元秀氏
第38回「北方領土の日」 平成30年2月7日(水)	宮城県登米集会所 登米祝祭劇場(水の里ホール)	600名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第39回「北方領土の日」 平成31年2月7日(木)	宮城県白石集会所 白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)	500名	元NHK解説委員 山内聡彦氏

令和元年度 北方領土返還要求宮城県民会議の主な活動

総会及び県民フォーラム（7月）出席者76人



青少年現地視察（8月）視察団23人



県内署名数（H30） 6万3,582人

北方領土返還要求宮城県民会議

〒980-8570

仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県総務部広報課内

TEL 022-211-2285 FAX 022-263-3780

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kohou/>